

本校の概要

1 沿革の概要

昭和42年に、肢体不自由養護学校として開校した京都府内で三番目に歴史のある特別支援学校です。

昭和54年より乙訓教育局管内の知的障害の児童生徒を受け入れ、向日市、長岡京市、大山崎町を校区としています。

特別支援学校における地域のセンター的機能を発揮するため、平成19年には「向日が丘相談・支援センター」を校内に開設しました。

地域社会とともに歩む学校を目指して平成30年から「地域社会連携部」を校務分掌として立ち上げました。また、同年から令和元年の2年間「文部科学省特別支援教育に関する実践研究充実事業」の指定校として、地域社会と連携協働した実践研究を進めました。その成果を継承・発展させて、授業研究を継続しています。

令和8年度末の改築校舎完成にむけて、令和5年夏に現在の旧済生会病院跡の建物を仮設校舎として移転しました。令和9年夏には新校舎での学校生活が始まる予定です。これから2年間の仮設校舎における教育活動においても「安心・安全」を第一にしなが、
「自分らしい社会貢献を実現する力」や「これからの共生社会の担い手」の育成を目指し、地域社会との連携協働をとおして新たな教育を創造するために全教職員の総力を結集し、「児童生徒の幸せに生きる力」を育む取組を進めていきます。



【仮設校舎(旧済生会京都府病院)の外観】

2 向日が丘支援学校の教育

教育方針 「自分らしく 人とともに 今を生きる力を」

- (1) 命を大切に、健康で安全に生きる力を育てる。
- (2) 個々に応じたコミュニケーションの力を育て、共に生きる力を育てる。
- (3) 個々の学びを見つめなおし、わかってできる基礎学力をつける。
- (4) 自分らしく社会参加する力をつける。

3 令和7年度在籍児童生徒数 ※()は昨年度

	向日市	長岡京市	大山崎町	その他	合計
小学部	42 (36)	48 (40)	7 (6)		97 (82)
中学部	17 (17)	23 (23)	5 (9)		45 (49)
高等部	24 (22)	39 (35)	11 (9)	1 (2)	75 (68)
合計	83 (75)	110 (98)	23 (24)	1 (2)	217 (199)

4 学校行事予定 (令和7年度)

4月	上旬：第1学期始業式、着任式、入学式
6月	上旬：年度当初懇談
7月	中旬：第1学期終業式
8月	下旬：第2学期始業式
9月	上旬：前期末懇談
11月	上旬：学校祭「むこうがおかフェスタ★Muko-Fes★」(2日間)
12月	中旬：希望懇談 中旬：第2学期終業式
1月	上旬：第3学期始業式
2月	上旬：高等部入学選考 下旬：高等部年度末懇談
3月	上旬：高等部卒業証書授与式 中旬：小学部・中学部年度末懇談 中旬：小学部・中学部卒業証書授与式 下旬：修了式